

花小 CS ビジョン:「もっと地域を好きになる！」  
 保護者と地域と学校で、子どもを育てる—  
 プレ コミュニティ・スクール  
**CS だよ!** (仮称)  
 第5号

R4 学校運営協議会日程  
 第1回—5月12日(木)  
 第2回—7月14日(木)  
 第3回—10月22日(土)  
 第4回—11月26日(土)  
 第5回 2月 4日(土)  
 第6回 3月 2日(木)

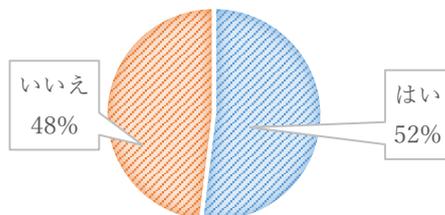
令和4年12月19日  
 東京都型学校運営協議会  
 会長 中條 浩美  
 小平市立花小金井小学校  
 校長 高橋 良友

### アンケートの結果 (前号の続き)

前号の印刷が読み取りにくかったので、設問1から再掲します。

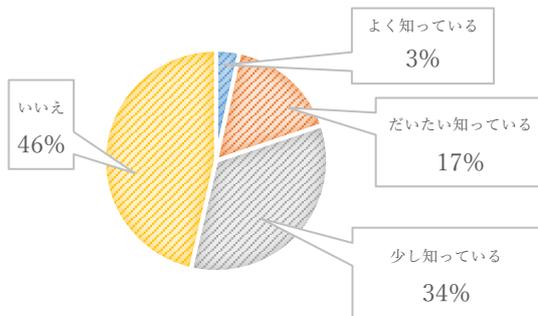
【設問1】花小CSが来年度からスタートすることをご存知ですか

※設問の趣旨…花小CSの認知度を測る



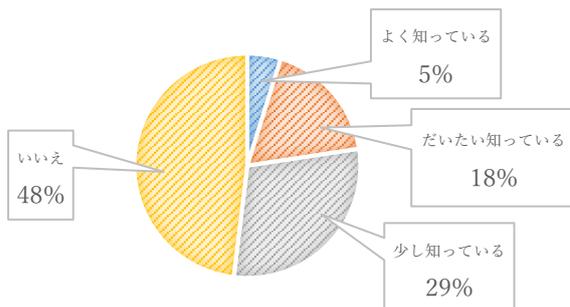
【設問2】CSとはどんなことをする組織かご存知ですか

※設問の趣旨…CSの理解度を測る



【設問3】花小CSの現メンバー(現学校運営協議会委員)をご存知ですか

※設問の趣旨…花小CSの構成メンバーの認知度を測る



**【設問2】**花小の子どもたちや地域の子どもたちのために、地域と保護者と学校で何でもできるとしたら、何をしたいと思いますか（実現が難しいと思うことでも結構ですので、自由にお答えください）

※設問の趣旨…今後、花小 CS でプロジェクトを立ち上げに、地域や保護者の方々の想いや願いを含める

### <概略>

#### □イベント・・・23件

お祭り、スポーツ大会、縁日、ハロウィン、体験型のイベント、フリーマーケット

#### □居場所・・・13件

安心して遊べる居場所、勉強できる居場所、相談できる居場所、一時預かりができる居場所、学校に馴染めない子の居場所、放課後の居場所、長期休業中の居場所

#### □交流・・・10件

いろいろな人との交流、いろいろな地域との交流、いろいろな世代との交流、外国の方との交流、ネットを利用した交流

#### □ワークショップ（出前授業）・・・9件

英会話、プログラミング、性教育、SNS、人命救助、科学実験

#### □見守り・・・7件

登下校の見守り

#### □地域の清掃・・・6件

#### □ボランティア活動・・・5件

#### □職業体験・・・4件

#### □キャンプ・・・4件

#### □学習支援・・・3件

#### □アティブラーニング（児童主体の学習）・・・3件

#### □学校美化・学校修繕・・・3件

### <詳細>

□核家族の時代なので、色々な人と関わったり触れ合う機会があるといよ。

□障害者(高齢者のみならず身体障害者なども)や、小平で事業を展開している方、外国人など。あとはスポーツや勉強の寺子屋。

□自分の身は自分で守る＝交通ルールをもっと頻回に教えたい(自動車教習所で見せられるような歩行者と自転車の危ない場面や死角などの動画などをみたり)

□自分の身近な人の命を守る＝人命救助講習(救急の場面に会ったときの対処方法など)

□地域の世代を超えた交流(地域対抗運動会など)

□小平市の子供である＝小平市議会議員との交流(実際の小学校の生活や子供たちを見てもらったり話をしてもらい、子供たちにある問題や現状を知ってもらう。また子供たちも市議会議員の仕事や政策を知る機会を得る。一緒に小平市の未来を考えたり、小平市が抱えている問題点を考えたりするなど。)

□子供達が放課後安心して遊べる場所を増やしたい。(思いっきり走り回ったり、ボール遊びができたり、地面にチョークで絵を描けたりなど。)

□学校のセキュリティの強化をしたい。今は誰でも簡単に学校の敷地内に入れる状態なので、不審者の侵入が心配です。保育園や幼稚園のようにテンキー錠の設置など出来たらと思います。

□生徒個人の興味にあわせた、継続アクティブラーニングの機会をふやす

□アスレチックを設置する

□夏休みのラジオ体操の復活。ラジオ体操連盟の方も高齢化しているように感じたので…

□夏休みプールの復活。教員の負担軽減が必要ならば、どうか方法はないか。

□学芸会。音楽会も展示会もいいが、興味のない子が劇に参加する経験は、この先できないと思うので。

□新しい事も必要だが、学校が児童の増加や教員の負担軽減などで削減せざる負えなくなった経験を、地域の助けや協力できたらいいと思う。

□いじめに関する講義

□SNSやLINEの使い方講座

□金融教育

□社会保障制度に関する講習

□ダイバーシティ教育

□いつでも遊びに行けるような、安全に遊べる場があるとうれしいです。

□資格、祭りイベントの復活、地域バザーなどのイベント開催

□子どもが企画から運営までを担った花小まつり。

□子どもが安全に学校の登下校が出来るようにバトロールを増やす。

□子どもが主体的に考えた意見をサポートして、実現してあげる

□子どもたち1人1人の自己肯定感が上がるようなにか。

□海外への視野を高める交流会又はさまざまな国のイベントを実際に取り入れる。

□子どもたちが自由に安全に遊べる場づくり(公園を増やす、自転車置き場などの整備、見守りなど)、校外活動を増やす(学校の外に出ての子ども主体の複合的な授業、今は人手が足りずクラス単位や教師主導の取り組みが多いと思うので)

□子どもの個性に合った少人数の学習をするために、地域や保護者が教師や補助者として授業に参加する

□子供たちには、地域にはどんな活動をしている方がいるのか紹介する場を設けたい。感染対策しながら、触れ合える場を作る。

□子供主催のフリーマーケットなどいかがでしょうか。

□家庭内の不用品を用いて、花小の校庭で、コロナを考慮して学年別などで、実際のお金を使って。

□子供全員にGPSの配布。アプリで担任の先生からの連絡、相談ができる。持ち帰りの教科書を減らす。(アプリで音読などのページを見れる。)

□子供達が楽しめるようなイベント

□子供達が放課後、お天気が良くない日(寒い日や猛暑日も含め)にも集まっておやつを食べたりのんびり過ごせる場所があったらと思います。児童館もおやつは食べられず外で食べると聞きました。

□思いやりのある子が育つ環境

□視野を広げる体験

□児童と共に校舎の掃除・清掃、花壇の草刈り

□自分の子だけでなく、誰の子どももみんな、地域で見守り育てることが理想です。そのために何が出来るか…はまだ分かりませんが、考えていきます。

□自由な遊び場の確保(ボール遊びや木登りなど自由に遊べる場所)

□集団登校(登校班)

□ボランティア活動(子どもにとって顔見知りの大人を増やせるようなイベント企画)

□塾に行かなくても受験できるくらいの環境の提供

□出来る事と出来ない事を優先順位をつけ実施する事。又、家庭で出来る事がもっと多く感じます。現状より多くの地域や学校に押しつけは厳しいと感じます。又、世代間の思考のギャップが

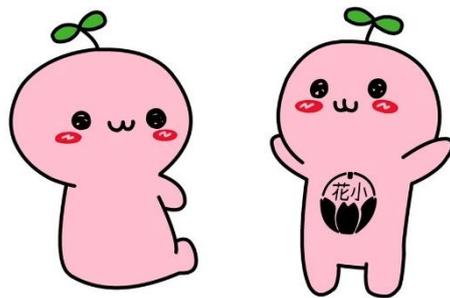
- いつもお世話になっております。数多くの取り組みをしていただき深く感謝致します。
- イベント開催
- インクルーシブ教育
- インターネットを活用した、地域の子どもたちと大人の交流の場の設置。
- お祭り等
- お祭りなどのイベント
- お祭りなどのイベントの企画手伝い
- お祭りやイベントに学校も参加。交流
- キャンプ、バーベキュー、DIY、実験、体験など
- キャンプファイヤー
- この地域や小学校から発信できる、自慢できるイベント開催。日本一、世界一(ギネス)を目指すものなど。
- ゴミ拾い
- コロナもあり子供達の遊べる場が減っているので、放課後に校庭で遊べるイベントがあると良い。
- スポーツ大会
- つながること
- なかなかいいアイデアが浮かばないです。すみません。
- ボランティア活動
- まちの清掃活動、放課後の遊び、ハロウィン回り
- 悪質投稿の管理が難しいかもしれませんが、コミュニティサイトを作ってみるのも良いかなと思いました。最近の子供たちは習い事も多く友達と遊ぶ時間を揃えるのも一苦労ですので、生徒全員が気軽に参加できるものはないかなと考えました。地域の方々の得意分野を発表してもらったり、定期的なワークショップの企画の発信などもありがたいです。子供たちは、それらへコメント(記名で)することで、相手を思いやる発言を学ぶ場所になるかもしれません。「素敵なお風景」など限定的なテーマの部屋を作って、子供たちが各自の Chromebook で撮った写真を投稿できたりすると、自分の写真が不特定多数(だけど自分のことは特定される)に見られる経験をすることで、写真に安易に人の写真を up することの危うさなど身を守る方法を知る機会になるかもしれません。ただ、子供特有の無意識の悪意や無邪気な悪意によって、深く傷付く子供が出てくる可能性がありますので、そういう面でも難しいかなと思います。
- 安全な遊び場、居場所の確保
- 委員の選定に疑問を感じるし、評価基準も曖昧。役職だけで決めるのは本来の CS からはズレている。
- 運動会みたいな老若男女問わず参加できる催しを恒例にしていく
- 英会話の習得がしやすい環境が地域的に出来たらとても興味があります。
- 縁日
- 屋外での自然活動
- 下校時の見守り
- 何らかのイベント
- 家庭教育と義務教育の枠からこぼれ落ちてしまうようなことを教えてくれる、出前授業があるといいと思います(例:性教育、ジェンダー教育など)。
- 科学実験教室
- 花小の教育目標「かしこく、つよく、やさしい子」にフォーカスした学校運営の協力や地域活動
- 花小まつり。具体的なものはまだ思いつかないが、学校の敷地校舎を利用して、地域、保護者、学校と一緒に企画運営して楽しむイベント
- 海外の方との交流会など。子供たちにとってはまだまだ遠い存在だと思うので、言語や文化に触れられる機会を作ってあげたいです。
- 外で自由に体を動かせる場所の確保・拡充。
- 学園祭
- 学区ごとのお祭りや催し開催など
- 学校でバザーやおまつり
- ワークショップ
- 仕事体験
- 学校に居場所がない、友だちとの関係が築けない、等で悩んでいる子ども達の居場所作り
- 学校のボランティアに参加し、生徒たちの手助けや、お手伝いが出来たらと思っています

- 多く現在通学世帯のご両親は過去の経緯も学ぶべきだと感じます。
- 小学生(高学年)から、中学生で行っている職業体験をできたらと思います。社会で働きお金を得て生活をしていくこと、お金の流れ(社会経済)を学ぶことは、夢を持っていく上でとても大切なことです。中学生になると進路を考え始めます。夢のある子は、早くから目標に向かって頑張れるモチベーションが高いように思います。その準備段階という点において、職業体験をさせ社会経済を教えていくのもよいのではと思います。
- 小中学校を中心に公共施設をいづれ統合する計画のようですので、その面においても大事な課題だと思います。私は地方の育ちで、小中学校が同じ敷地内にあり、校庭で、地域の運動会、盆踊り、野球大会、テニス大会などの行事が行われ、地域住民は大人子どもを含めて、互いをよく知っていました。広い町内の5つの地域の小中学校が集まる、合同運動会は地域の最大のイベントだったと思います。学校が地域の中心だった時代で、私はそのような環境で育ちました。都市近郊にある小平市のコミュニティスクールは何を目指すものなのか理解しておりません。一方で、教員の皆さんが学校や子ども以外の地域に触れる機会が増えるといいと思いますし、地域の皆さんも子供たちがお世話になっている学校や教員をよく知る機会があるとよいと思います。青少対や保護者会だけでなく、地域の大人と教員、子どもたちがいっしょに何かをする機会を作る例としては、地域の人たちを講師にして、子どもたちに関わる、デジタル、グローバル、環境、金融、仕事の経験、防災、防犯、交通などを話題に、形式ばらずに話をして交流するとかはいかがでしょうか。地域には多様な方がおられると思います。
- 小平市探検ツアー
- 植物を育てるなど環境や景観を考える機会が持てたらいいなと思います。
- 色々な働く現場を見せてあげたい
- 身体を動かすことを目的としたイベント(ボールが使えない公園など多いため、大人の見守りがある中で思い切り遊んでほしい)
- 炊き出しをする。学校お泊り会。アイデアを募って公園を造る。病院や老人福祉施設へ行き慰安する。
- 昔の遊びを教える
- 他の学年の児童さんとの触れ合い、一緒に物づくりをするなど
- 体験型のイベント(例:フラワーアレンジメント、料理教室)
- 大玉おくりや綱引きなど、児童と保護者が一緒に出来ること。
- 誰がやるのか? どういう形で? ということは全然浮かんでいませんが、生徒が児童の心理学を学ぶ機会があればいいなと思います。いじめや嫌がらせなどをなくすために、道徳教育などされているかと思いますが、違うアプローチから。子供世界にありがちな、嫉妬や怒り、マウントをとりたがる、などその自分の感情はどこからくるのか、なぜそう思ってしまうのか、なぜその結果悪口や嫌がらせなどの行動に出てしまうのか、子供自身が自らの心理の理解を深めれば、無用な他者との軋轢を少なくできるのではないかと思うので。年齢が上がっても大人になっても役に立つことだと思うので。
- 誰でもいつでも入れる放課後教室や長期休みの居場所づくり
- 探究活動 みんなで一つのものを作る 一つのものごとをこんねる 生徒会のようなものを作る
- 地域、保護者、学校が連携した無料の学習塾の提供をしてくれる場所が欲しいと思います。学校だけの学習では理解が追いつかない子供のフォローや、より高度な学習を希望する子供が親の経済状況に関係なく、いつでも学習できるような環境があれば教育格差が広がらないのではと思います。
- 地域ならではの体験
- 地域にいる芸達者の方や特技をお持ちの方による出前授業。(ちゃんへんさんのような)
- 地域の方に昔遊びを教えてもらう
- 地域の方を知る会、保護者の方を知る会、保護者の会、青少対、花小クラブ、地域の方々、花小の職員等が分かる動画作成、保護者、地域の方々、教職員の茶話会
- 地域の方々に授業をやっていただく(得意なことを生かして)
- 地域を巻き込んだ、規模の大きなハロウィンイベント(参加不参加は各自の自由)
- 地域主体のボランティア活動(清掃作業など)
- 通学路の安全見守り

- 学校の中でお祭り(文化祭みたいなやつ)ダンス大会、みんなが楽しめるもの。
- 学校はもうすぐ50周年を迎え、古くなってきている設備もあるかと思うので、例えばペンキを塗り替えたり、修理や新しくした方が良い物などをみんなで作るなど出来たら。
- 学校建て直し、改修。令和の時代に合った施設へ。トイレ、温水、セントラルヒート。
- 学校行事を充実させてあげたいです。例えば運動会なら、大玉ころがし綱引き玉入れ騎馬戦など一学年に一種目の競技を復活させてあげたいです。
- 学校美化。校庭の芝生化。給与をお支払いし、シルバー人材による芝生のメンテナンス、管理。
- 学習のフォロー。科学実験教室。高校受験を見越した先取り学習。
- 学習塾 子ども食堂 星空観察 防災キャンプ
- 学童に預ける程では無く、単発で子供の帰宅時間に間に合わない場合に、幼稚園の様に一時預かりができると良いと思う。その時間に宿題だけでも見ていただけると助かります。
- 学童保育の充実、子どもたちの居場所の確保、地域コミュニティとの交流
- 気軽に相談や話ができる場所をつくる
- 近隣周辺の清掃
- 具体案が分からないので、他の地域でやってみてよかった事例など教えていただきたいと思いました。
- 具体的な案はないですがたくさん体験、経験してほしい。今すぐに目に見えて感じることはないかもしれないが将来必ず感じる時がくる。近隣小学校に比べてコロナに慎重になり過ぎていると思う。
- 経済的塾や習い事にいけない子の支援
- 見守り
- 午前授業の日。特に雨の日は時間をもて余してしまっているので、何かないかなと思う。
- 交換留学
- 校庭開放当番(保護者、シルバー人材など活用)があると、子供たちや親も安心して遊びに行かせられるし、外遊びは重要だと思います。公園は知らない人も多く犯罪も多いです。教員もずっとではなくたまに顔を出すなどして、地域との繋がりや子供の知らない顔を知れたりすると思います。親も子供も安心して過ごせる場所を用意することが大切だと思います。

- 通学路等の学校周辺環境の整備やネットを通じて地域、保護者、学校のコミュニティの場を作ること。
- 伝統行事を学ぶ教室 習字 生花 お茶など
- 登下校の見守り
- 登下校時の見守り、放課後広場
- 働く世帯のサポート
- 美術館や博物館見学、芸術(舞台や日本の伝統芸能)鑑賞、外国人との異文化交流、大規模な創作活動(壁にペインティング、ツリーハウス作り等)、職業体験、職場・工場訪問、ボランティア活動
- 夫婦ともに、趣味で吹奏楽をやっていました。地域の大人と子供と一緒に音楽を楽しめる吹奏楽やブラスバンドのサークルがあったら楽しそうだね～なんて話をしました。(なかなかこのご時世難しそうですが...)
- 部活動、特にスポーツ
- 保護者と学校で何でもできる ではなくて何かできる の方が良いのでは無いですか。何でもできるなら、無理をしてもするという意味にも感じます。あと、無理を通してもいい意味合いにも取れます。人の取り方次第ですが、何かしてあげたいという善意の心で動くのが良いのではないのでしょうか。
- 放課後スクールみたいなもの。学校の場所を使用して、外国人の先生による英語教室やプログラマーによるプログラミング教室など。
- 放課後の居場所作り～遊び、勉強、お喋りなど
- 防災キャンプ
- 防犯カメラの増設
- 盆踊り
- 遊歩道スタンプラリー(清掃しながら)
- 幼稚園から小学校へ上がり、トイレが汚くて学校のトイレでは排泄したくない、と子どもに言われたのがとてもショックでした。今もトイレを我慢したり、先生にもトイレに行きたいと話したら、今は行く時間では無い、と言われた…と話を聞いた事が有ります。休み時間に済ませるのは勿論ですが、出来れば、子供が汚い、嫌だと感じない、安心出来る環境のあるトイレが出来たら良いな、と思っています。トイレが子供にとって特別なものではなく、生活において大事な事、場所である事を生かせるような学校での指導もあつたら有り難いと思います。
- 校舎や校庭を利用したキャンプ
- 校庭開放以外の放課後の居場所づくり。八小のように、学校で習い事ができる。

※ 設問 5 以降の回答は、次号に



## CS(コミュニティ・スクール)とは？

CS(コミュニティ・スクール)とは、学校経営協議会を設置した学校のことで、学校経営協議会とは、子どもの周りにはいる地域の大人が互いに協力し合って、自分のまちの子ども達を守り、育てようとするための仕組みです。

CSの目的は、保護者や地域住民の学校経営への参画と連携をすすめ、地域に開かれた学校づくり、地域に支えられた学校づくりをしていくことです。

※今年度は令和5年度のCSの指定に向けた検討期間ですので、東京都型学校運営協議を設置し、検討を行っています。令和5年度にCSがスタートしましたら、「学校経営協議会」として設置し、運営を行います。

## 令和4年度 東京都型学校運営協議会委員の皆様 ※敬称略

会長	中條 浩美	(花小サポーターズ代表)
副会長	齋藤 貴彦	(小平市職員・樹医)
	天野 岳洋	(花小金井南公民館館長)
	植松美代子	(花小金井南三丁目自治会長)
	鍵山 智子	(地域教育コーディネーター)
	鏑木美知子	(民生委員児童委員)
	瓦井千恵子	(民生委員児童委員)
	椎名 理沙	(保護者の会委員長)
	田中 京子	(地域教育コーディネーター)
	東海 祐子	(花小地区青少対会長)
	深川 真人	(花小金井小学校園芸ボランティア)
	堀井 賢治	(花小金井南中学校校長)
	松浦 竹美	(花小地区青少対副会長・小平市青少年委員)
	森井 良子	(元小平市教育委員会教育長職務代理人)
	大澤 宏史	(花小金井小学校副校長)